

溪声



飛騨市・高山市の



ダンボールリサイクル

今回は、ダンボールの行方を紹介します。
ダンボールは、ほぼ**100%リサイクル可能**な梱包材です。

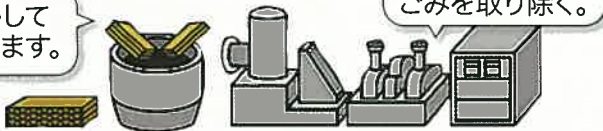
1 紙を作る原料

紙の原料は木です。その木の約70%は海外からの輸入、残り30%は国内の端材を使用して作られています。



2 では、リサイクルの過程を見ていきましょう。

原料を溶かして
繊維状にします。



ごみを取り除く。

原料を広げ水分を取る。



成型後乾燥させ、ローラーで
圧力をかけ表面をつるつるにする。

一枚の大きな
紙にする。



3 わが国のダンボール回収率は95%以上を誇ります。 ほぼ100%リサイクル可能な梱包材です。

4 ダンボールのリサイクル品

ダンボールリサイクルで出来る製品はダンボール、紙筒、ロールの芯などです。



古紙回収、製紙工場、ダンボール工場の3つの業界が一体となって資源循環を支えています。

「三位一体」の古紙リサイクルシステムです。

地球温暖化対策、森林破壊を少しでも軽減するために、燃えるごみからリサイクルへ一人ひとりの協力が必要です。



高原川漁協 からのお願いです

これぐらいは大丈夫？ という思いが川を汚します！

下の写真は、昨年7月に藤波橋下流の様子を撮影したものです。

これは、洗剤に由来すると思われる界面活性剤により大量の泡が発生した状況を記録しています。近年、このような河川への泡の流出は、つるべ橋の左岸、神岡大橋下流右岸、茂住橋下流右岸など高原川流域のあちこちで見られています。魚類の死亡等の事故は発生していませんが、これでは清流高原川のイメージは台無しです。

これくらいなら大丈夫だろうといった軽い気持ちで、このような環境事故ともいえる状態をもたらします。

高原川は、高原郷に生活する者にとって故郷の象徴であるとともに重要な観光資源です。大切な高原川を維持していくには、流域に生活する一人ひとりが気を配るしかありません。



一人ひとりの心がけひとつで
大切な美しい河川を未来へ残していきましょう。

山

人々と心⑥



粕谷 志郎
(かすやしろう)

岐阜大学名誉教授

薬師岳 2,926m

仏教では、悟りを開いた状態を如来と呼び、釈迦、阿弥陀、薬師、大日が挙げられます。このため信仰に結びついた山々にはこれらの名前が多く付けられています。薬師岳も沢山ありますが、今回は立山連峰に位置する薬師岳の紹介です。急峻な頂はなく、遠景はゆったりとした、それでいて存在感が半端ではない豊かな山塊です。笠ヶ岳と同じ、流紋岩（火山の堆積物）でできた山です。山頂東側には同じくカール（氷河が削った盆状のくぼみ）が広がり、特別天然記念物にも指定されています。縦走路に位置しますが、有峰からの登山道が最も早く上ることが出来ます。登山口には十三重の塔が建てられています。昭和38年（1963）に愛知大学の学生13名全員が遭難した慰霊碑です。吹雪に会い、山頂近くから引き返す途中で誤っ

た尾根に迷い込んだと言われている。尾根を上るのは容易いことで、高い方へ上れば頂上に達します。下りは支尾根が分岐しますので、その都度どちらの尾根かを確認しながら下ります。視界が悪いと分岐に



すら気付かず下ったのかも知れません。90度近く方向の違った尾根ですので、どこかで磁石を見ればと思われ。今はGPSが威力を発揮してくれます。必携のアイテムと言えます。

薬師岳と神岡とも関連のある小説があります。昭和13年（1938）に発表された中河与一の「天の夕顔」です。純愛小説で、ある既婚女性との愛を貫いて、一生を生きた青年の物語です。戦中から戦後にかけて45万部を出版し、フランス語にも訳され、アルベール・カミュなどに絶賛されたといわれます。主人公は傷心の末、世捨て人になることを決意し、「そこが一等山深いところと聞いて有峰を目指しました」。しかし、そこで冬を越すことは不可能と知り、引き返した山之村（神岡）で自給自足の生活を始めます。有峰の集落はダム予定地として買収されており、大正9年（1920）には廃墟となっていました。小説の舞台はこの時代だったのでしょうか。主人公は、ある春に薬師岳登頂を決行します。山頂では黒部川の谷音が聞こえ、「天の旋律のようにわたくしの心を魅了しました」。私は、3千メートル級の頂から沢の水音が聞こえた経験が無く、これを聴くために薬師岳に登り直しました。確かに聞こえます。耳を澄ませるとかすかに、天の旋律です。聞こうとする者にだけ聞こえます。少なくとも、以前登った時には気が付きませんでした。主人公は、ここが地の果てのように思われ、心には人間以外の他の世界を感じたようです。

コロナ禍の時代、心は広くどんな垣根（差別、エゴなど）もなくし、しかし、人と人の距離を再確認していかなくてはなりません。薬師如来の持つ薬壺にはどんな処方が入っているのでしょうか。

環境を守るための活動

当社ではこんなことをやっています

「快適で住みよい生活環境づくりをめざして…」
これが当社のスローガンです。日頃の業務はもちろんですが、それ以外にも、こんなことをやっています。

1 地域清掃・河川清掃

国道・県道のパーキングや神岡町内の清掃を月1回、高原川河原の清掃を秋に1回、行っています。全体としては以前よりごみの量は少なくなっていますが、その中で、2回実施した杉越トンネル内だけは2回とも多かったのが目立っていました。今後も、このような活動を通じて、きれいな町づくりに協力していきたいと思えます。

回収物		
可燃ごみ		25.8kg
不燃ごみ	合計	17.5kg
	ペットボトル	56本(+0.8kg)
	空缶	156本
	空ビン	17本
	その他	4.3kg



2 社用車燃料使用量の削減

ごみ収集、汲取り・浄化槽清掃作業をはじめ、私どもの業務と車両は切っても切り離せない関係です。当然、燃料が必要ですが、地球温暖化防止のためには、軽油・ガソリンといった化石燃料の使用を少しでも減らしたいものです。そのため、前年度の燃費よりも燃費を良くすることを目標にしました。その結果、75%の車両が、前年度の燃費を上回ることができました。

3 電気使用量、灯油使用量の削減

化石燃料の使用を減らすためには、無駄な電気や灯油を使うことも控えたいものです。そこで、過去の使用量を基準として目標を立てました。電気の消し忘れチェックや、毎週水曜日をノー残業デーとすることにより、意識づけを図りました。さらに、蛍光灯をLED化しました。その結果、電気の使用量は前年度から11%減らすことができました。また、灯油につきましては、暖冬のおかげもあり、前年度から5.5%減りました。

4 社内ごみのリサイクル率向上

社内から出る可燃ごみを減らし、リサイクル可能なプラ容器・紙容器・古紙を徹底して分別することにより、リサイクル率の向上を目指しました。リサイクル率40%を目指して活動を進めてきましたが、昨年度は残念ながら36%でわずかに及ばず、目標は達成できませんでした。

品目	重量
可燃ごみ	549kg
プラ製容器	59kg
紙類	84kg
古紙	168kg
リサイクル率	36%

以上のような活動を1年間行ってきました。これからもこのような活動を継続し、快適で住みよい生活環境づくりをめざしてまいります。



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

気候変動

●平成12年入社 業務課所属 **瀧本 隆一** (たきもと りゅういち)

みなさん今年の冬はどうお過ごしでしたか？ 雪が少なく過ごしやすい冬だったと言う方もいれば、雪がなくウインタースポーツが出来なかったと残念がる方もいたのではないのでしょうか。ですが、このような気候変動が起こることにより、ゲリラ豪雨などの記録的な災害が日本各地で起きています。雪が降るべき時に降らず、それが違う時期に雨として降る。そうしていくと、この四季豊かな日本の自然が失われていってしまうのではないのでしょうか？

近年は、このような地球温暖化などの環境問題が世界中で取り上げられています。(日本ではまだまだ関心が低いですが)そこで、PROTECT OUR WINTERS (POW)という活動を紹介させていただきたいと思えます。

この活動は、プロスノーボーダーのJEREMY JONESが始めたものです。いくつものスノーリゾートが小雪のためオープン出来なくなっている現実に直面し、「何か異変が起こっている。」そう強く感じた彼が、行動を起こすことを決意しました。スノースポーツの観点から、気候変動が大切なフィールドである山(雪山)の状態に大きな影響を与えているにも関わらず、ほとんど何もなされていないことを痛感した彼が仲間と共にPOWを立ち上げました。この活動がスタートすると気候変動の影響を感じていたプロライダーたちやサポーター、関連企業などが賛同し、今では13万人以上のサポーターに支えられています。日本でも2019年にPOW JAPANが発足し地球温暖化などの問題に取り組んでいます。未来の地球環境を守るために、心配しているだけではなく、自らが行動を起こすことが大切ではないのでしょうか。



お客様満足度 アンケート結果

神岡町・上宝町・奥飛騨温泉郷のお客様約300名の方に、本年2月～3月にかけて、「お客様満足度アンケート」を実施させて頂きました。アンケートにご協力頂きました皆さまには、心よりお礼申し上げます。

お客様から頂戴しました、たくさんのお問い合わせやご要望の中から、一部ではございますが、この場をお借りして、お返事をさせていただきます。

Q1

ごみの収集について、遅いときは午後になることもある。いろいろ会社の都合があると思いますが、時間を守って収集してほしい。

(特に可燃ごみはカラス等の被害があるので)

A1

一般家庭のごみ収集につきましては、通常午前8時から収集を始め、午後3時半までに収集を終わるように回っております。収集ルートは通常同じように回っておりますが、その日のごみの量や道路状況によって、いつもとは違う時刻になる場合がございます。ご理解をいただきたくお願い申し上げます。

Q2

当日間違ったごみを出していると、置き去りにしている。対策としては、大きな貼り紙をして行ってしまう。また、1個や2個の物を持っていくスペースはないのか？上から目線にしか見えない。

A2

貴重なご意見をありがとうございます。収集したごみは、そのまま処分場に運びます。当日収集する品目以外のごみは、当社の判断で収集しないのではなく、処分場の指示で置いてまいります。貼り紙には収集できない理由を記載しておりますが、説明が足りないところもあったかと思えます。市民の皆さまにはご不快な思いをされることがあるかと存じますが、事情をご理解いただきたくお願い申し上げます。今後も決して業者エゴとならないように、市民の皆さまの目線に立って収集に携わりたいと思えます。

今回頂戴いたしましたご意見やご要望につきましては、真摯に受け止め、お客様にご満足いただけるサービスの提供に努めて参りたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



株式会社 神岡衛生社

〒506-1147 飛騨市神岡町東雲375番地

TEL0578-82-0337 FAX0578-82-5846 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ホームページからお問い合わせ、ご注文など承っております。なかなか電話する時間がない方も、そうでない方もお気軽にどうぞ。

業務内容

- 一般廃棄物収集、運搬
- 産業廃棄物収集、運搬
- 浄化槽維持管理(保守点検・清掃)
- 給排水、衛生設備工事
- 浄化槽施工、修理
- ビルメンテナンス(建築物清掃、貯水槽清掃、排水管清掃)
- 墓石、石碑等のクリーニング
- 中間処理場、最終処分場の運営、管理

- 環境分析
- 環境計量証明事業所(岐阜県第19号)
- 建築物飲料水水質検査業(岐阜県9水第11号)
- 下水道維持管理、補修(処理施設・管路施設)
- 産業廃棄物、一般廃棄物のリサイクル及びコンサルティング
- 電気工事 ●空調設備工事 ●換気設備工事
- 乾式清掃用具リース、販売
- 仮設トイレの賃貸、管理及び販売 ●各種関連商品販売